



Kainan East Rotary

DISTRICT 266

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363
 例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣才1 例会のみ 18時30分 於海南商工会議所4F
 会長 柳川和一郎 幹事 宮田敬之佑 会報委員長 土岐甚五郎

才136回 例会 昭和53年4月24日(月) 於 海南商工会議所

1. 開 会 司 会 柳 川 和 一 郎
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. 出席率 78.13% 会員総数 32名 出席者数 25名
 前回修正出席率 93.8%
4. ビジター 山野博司様(東京芝R.C.) 金谷龍太様(有田南R.C.)
 石川純治様(和歌山東R.C.) 前田孝道様(和歌山東南R.C.)
 津本 覧様(海南R.C.) 夏見健蔵様(海南R.C.)
 柴川純三様(") 堂田武治様(")
 糸川順治様(") 出口暢通様(")
 川口雅司様(") 小嵐 清様(")
5. メイキャップ 吉田隆一君(4/19 海南R.C.)
6. 会長スピーチ

沢山のビジターの方々本日はメイキャップ有難う御座居ます。新市長山本有造君御当選おめでとう御座居ます、会員一同代表してお祝申上ます。さて136回の例会で御座居ます、4月22日~28日に至る一週間の内一番近い例会日を米山記念奨学会の国際的意義を認識して頂くクラブ内のフォーラムを持つ事になって居ります、河尻委員長後程よろしくお願い致します。

4月2日県下の会長幹事会が東急インホテルで行われましたが、来年の事もありますので松田次期幹事共々出席して参りました、御報告する事ではICGFが南の組へ入りまして来年1月20日田辺東のホストで行われる事が決っております、それから次年度の会長幹事会のホストは橋本R.Cで行われる事が決りました、その外前から懸案のロータリーの献身者とか東京大会行とか又年会費等の毎会話題になる様な事が出ましたが後あまり大切な事もなかった様に思います。唯一寸一言と言う事で話し合った所あと二ヶ月大切に勤めたいとか、も

SERVE TO UNITE MANKIND 全人類を結びつけるために奉仕せよ

う終りに近づく様な発言ばかりで御座居ます それから玉置さんの御兄弟が先般の葬儀に際して、海南東からも沢山お参り頂いて有難う御座居ましたとの御礼がありました、御報告して置きます。それからマンフリーレーターに角谷さんのポールハリスのフェロー御披露がありました、先程のICGFの組替78,79年度のガバナー公式訪問の日程等が出て居ります御一読下さい。任期の残期間も少なくなって聞いて頂く事も少なくなって参りました終ります。

7. 幹事報告

- 四条暁R.C.→国際R.C.加盟認証状伝達式のお知らせ
 - ・ 来る6月17日(土)新阪急ホテルで行われます。参加頂ける方事務局迄
- 新旧合同理事会御案内
 - ・ 来る5月6日(土)P.M.7:00よりみなみで開催

8. 委員会報告

○ 米山奨学会(河尻鳩親委員長)

米山週間に当りますので、インフォメーションという事ですが、日頃は勉強不足ですので、此の機会に勉強させていただきます。

いつも米山ボックスに御協力賜わり有難う御座居ます。尚又本年度は普通寄附金を増額頂きまして御礼申上ます。

さて財団法人ロータリー糸山記念奨学会は米山梅吉氏が亡くなられた昭和21年4月28日を記念して、毎年4月22日から28日迄の一週間を米山週間と定めて右ロータリークラブを中心に米山奨学会の事業に対する御協力を呼び掛ける事になっています。

◎ 米山奨学会について

外国から我が国に来て勉強している学生は年々2000人を越えるといわれているが、これら留学生に対する我が国の奨学金制度は外国に比べて非常に貧弱で政府の奨学金を受けている。国費留学生は僅かに15%残りの85%は私費留学生である、米山奨学金は、これら私費留学生を対称とするもので、此の種の奨学事業としては、我が国では他に類をみない制度である。本奨学金の対称は主として東南アジア諸国からの留学生で、その本国にロータリークラブの存在する国から来て、我が国の大学、大学院または研究所に在籍している男女である。近頃は東南アジア以外のアメリカやヨーロッパから来ている学生にも拡げられています。

此の奨学会の誕生は日本のロータリーの創設者である米山梅吉氏が1946年に逝去せられ、その後戦争中は一時中絶されていた日本のロータリーが戦後1949年国際ロータリーに復帰し、東京ロータリークラブもその活動を再開する事になったので、1952年頃から米山梅吉氏が生前私費を投じて、東南アジアからの留学生の世話をされていたのを記念して、奨学金制度の創設を考え1953年京東

R. C. 内で基金の募集を開始し、1954年にバンコックから留学した学生一人に奨学生才1号として支給する事になりました。

1956年に才60及62地区（当時は全日本が2地区であった）地区年次大会で両地区内すなわち、日本の全クラブの共同事業とすることを決議し、さらに全国的なロータリー米山奨学委員会を結成し、1958年この委員会として、才1回の選考試験を行ない、8名の奨学生を決定した。その後1961年東京における才52回国際ロータリー年次大会を記念して英文名を

“The rotary yoneyama memorial foundation、

と決定し、さらに1967年財団法人ロータリー米山記念奨学会の設定認可を得た此の様に、現在略称「米山奨学会」が生れたのである。その運営は20名ないし30名の理事によって行なわれ、その互選で理事長1名副理事長3名専務理事1名常務理事5名が選ばれ、別に幹事3名が選任されている。

重要事項審議のために評議員を各地区ガバナーの推せんによって、理事長が委嘱する事になっている。理事や幹事は評議員から選ばれるから、米山奨学会の人事は、ロータリーと完全に一体の関係にある、その会務は東京にある事務所で統轄的に行なっているが、現在その職員としては専務理事と4名の女子職員が毎日事務を取っている、各地区には米山奨学事業を推進する為に地区委員が設けられ、又各クラブでは、クラブの米山委員が任命されて奨学会の強力な支持組織となっている。

米山奨学会の使命は金銭的な援助だけではない、留学生の殆んどすべては言語風俗、慣習の違う日本で、生活苦と闘いながら孤独な思いをして勉学を続け、その多くは日本人の中に心の友を求め、日本人の生活や家庭をもっと知りたがっている。この意味において各奨学生には、世話クラブが決定されそのロータリアンがカウンセラーとなって、親切にお世話をして頂いていることは、御承知の通りである。最近では年間200名を越える留学生に奨学金を支給しているがこの頃の物価騰貴で奨学金の増額が強く望まれ、又留学生の増加に伴ない奨学生の数の増加や支給年限の延長が要請されている。此の費用はすべて全国のロータリアンからの個人的寄付、地区やクラブ等から特別寄付でまかなっているのであり、その額もロータリアン各位の非常な御奉仕で年々増額していますが尚一層の御協力をいただきたいと思う次第です。

◎ 米山梅吉翁とは

1868年2月4日江戸に生れ1964年4月28日郷土静岡県下で死去、今年4月28日は32回忌に当り、生誕110年になります。

大和の国高取藩士を父に、静岡県三島大社の宮司の娘を母にもった和田梅吉少年は4才の時父に死なれ、母の里で教育を受けた。頭脳明晰な美少年であったので、土地の名門米山家から養子に懇望されて、米山姓を名のる事になった。

頭が良い上に教育環境に恵まれ、さらにその道を決断と勇気を持って、自ら切り開いて進んだ所に偉大さがあつた。小学生に入学した映雪舎は校長が漢学のできる僧侶であつたため、梅吉少年は既に漢文が読め、沼津中学校は沼津兵学校時代以来、立派な教師に恵まれていた。16才の時家出して東京の塾に住込んで勉強したが、二転三転の後青山学院の前身である。東京英語学校に落着き、ここで本多備一校長からキリスト教的教育を受けたのが彼の人生観に大きな影響を与えた。20才の時遂に渡米を決意、これも苦学のために大学を卒えるのに八年間、このことが米国の社会を知る上に役に立った帰朝後、間もなく三井銀行に就職出来たのは、財政界の大御所、井上馨侯爵の紹介があつたからであるが、それも元東京の塾時代の旧友藤田四郎のお蔭である、というのは彼は井上侯爵の女婿であつたからである、米山さんは「提督ペルリ」の出版に当り、その題字を勝海舟に書いてもらったが、それ以来徹底して海舟に師事し、海舟もまたよく指導してくれた米山さん50才のとき政府特派財政経済視察団に加えられた。その団長目賀田種太郎男爵は勝海舟の女婿であつた、米山さんの応接間には海舟と井上侯爵の額がかかつていた、このように米山さんは世話になった人の恩は忘れない人だつた。

さてその渡米の折ダラスの三井物産支店長の福島喜三次氏を訪ね既に、ダラスのR.C.の会員であつた福島氏から、初めて国際ロータリーの話聞き、その創始者ポールハリスの人柄等に深く感銘した。それが動機で帰国した福島氏と共に日本にロータリーを導入する事になり、1920年東京R.C.が設立され米山梅吉氏は初代会長に選任された。日本のロータリーが米山さんの遺志をつぎ、米山記念奨学会を起すに至つたのも当然の帰結と言えよう（後略）



二二BOX

山本有造君（此の度御協力を感謝、御意見、御叱正を遠慮なく賜ります様）
平尾寧章君（神戸サンダゴルフで、当時勝てる事の出来なかつた学友を倒した）

次回例会案内 № 137 昭和53年5月1日（月）PM6：30～ 於海南商工会議所

奉仕……それは感謝の気持から
奉仕するために出席せよ

オ 266 地区ガバナー 菅 生 謙 三
1977～78 年度会長 柳 川 和 一 郎